

東高校卒業式

金沢学院東高校の第五十三回卒業証書授与式は三月一日、金沢市観光会館で行われ、卒業生二百七十三人が希望に胸を膨らませて門出の一步を踏み出しました。ロビーでは美術文化コースの卒業制作展も開かれ、力作が式に彩りを添えました。



石田校長から卒業証書を受け取る卒業生
総代の有沢剛君「金沢市観光会館」

「常識」を身に付けよう

273人が新しい門出

クラス担任が卒業生の名前を読み上げ、総代の有沢剛君に石田毅士郎校長が卒業証書を手渡しました。石田校長が式辞、飛田秀一学
校法人金沢学院理事長が告

辞でそれぞれはなむけの言葉を贈りました。齊藤千佳子同窓会長の祝辞と在校生代表の端優香さんの送辞にこたえて、卒業生を代表して中村祥宏君が「新しいことに挑戦して得

られる発見は宝物。教育理念の『創造』が意図するよう
に、今ある形にとらわれ



答辞を読む中村君

飛田理事長告辞（抜粋）
常識とは、だれもが持っているべき知識や判断力のことである。常識を身に付けるには、人に迷惑をかけるな
い
か
考
え、迷ったときは周りに意見を聞き、周りに
良
い
手
本
と
な
る
人
を
見
つ
け
る、の
三
つ
を
普
段
か
ら
心
が
け
る
こ
と
だ。

石田校長式辞（抜粋）
創造する力を養い、人生のさまざまな場面で、自分の持ち場に応じて「創造」し、実践してほしい。それが自分自身の成長の糧となり、同時に社会への貢献となる。社会に貢献するには公共心と感謝の心を持つことである。



美術文化コースの作品展

テーピングのコツ分かった

東高運動部が実技講習会



テーピングの実演に見入る運動部の生徒たち
= 金沢学院東高校体育館

第四回金沢学院東高校運動部の第四回冬期合同研修の実技講習会は二月十七日、同校体育館で行われました。
富山健康科学専門学校の講師の山野力さんが「テーピングとPNFストレッチングの知識」をテーマに、関節やじん帯の動きと、故障したときの対

処方法としてテーピングのコツを生徒に教えました。テーピングでは、負傷した人の姿勢や脚の位置、アンダーラップは外側から内側に巻くこと、痛めた部位によってテープを巻く方向が違ふことなど、細かく指導しました。生徒はペアになって実際に巻き付ける作業に挑戦しました。



露しました。

発行・広報室

ず、常に変革しようとする前向きな姿勢を大切にしたい」と答辞を述べました。式では三十九年皆勤賞の十四人（代表・吉村一輝君）教科外活動特別功労賞・功労賞・努力賞の計三十八人（代表・松田正行君）に、また式に先立って日本私立中学高等学校連合会会長賞の二谷結花さんにそれぞれ表彰状が手渡されました。

ショートテニス楽しむ

金沢学院大学基礎教育機構の土曜大学第九回講座「生涯スポーツを探そう」は二月十七日、第一体育館で行われ、参加した親子連れなど約三十人がウオーキングやショートテニス「写真左」を楽しみました。参加者は最初に板倉美紀職員から正しい歩き方の指導を受けてウオーキングに挑戦しました。平井敦夫教授からショートテニスのルールを説明してもらったあと、各コートに分かれ、思い思いのペースで球を追いました。パドミントンでは現役クラブ選手であるカレルマイナキー職員が時速三百キの迫力あるスマッシュを披露しました。